

世 界 史

(問 題)

2017年度

<H29111121>

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。また、マークシートに消しゴムのかすを残さないこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I アナトリアは、その地理的重要性から古来、数多くの民族や国の興亡の舞台となった。アナトリアに関連した歴史について、以下の各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。

問1 紀元前17世紀半ば、アナトリアに強力な国家を建てたヒッタイト人についての記述で、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア シリアをめぐってエジプト中王国のラメス2世と戦った。
- イ 鉄製の武器や戦車を使用するなどすぐれた技術力を誇った。
- ウ ハットゥシャ（ボアズキョイ）に都を置いた。
- エ メソポタミアに遠征してバビロン第1王朝を滅ぼした。

問2 アッシリアの滅亡後、オリエント世界は4王国の分立状態となるが、このうち西部アナトリアに栄えた国を一つ選びなさい。

- ア 新バビロニア
- イ ミタンニ
- ウ メディア
- エ リディア

問3 アケメネス朝の支配に対して反乱を起こし、ペルシア戦争のきっかけとなったエーゲ海岸のギリシア人植民市を一つ選びなさい。

- ア カルタゴ
- イ サルデス
- ウ トロイア
- エ ミレトス

問4 マケドニアのアレクサンドロスは334年に東方遠征を開始し、アナトリアを横断してイッソスの戦いでペルシア軍を破った。この時のペルシアの君主を一人選びなさい。

- ア アルタクセルクセス2世
- イ キュロス2世
- ウ クセルクセス1世
- エ ダレイオス3世

問5 アレクサンドロスの死後、征服地はその将軍たちによって分割された。そのうちアナトリア南部を支配した王朝を一つ選びなさい。

- ア アケメネス朝
- イ アンティゴノス朝
- ウ セレウコス朝
- エ ササン朝

問6 ローマ帝国の下、キリスト教は公認され、教義の統一がはかられた。アナトリアで開かれた公会議についての記述で、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ニケーア公会議を開催したのは、コンスタンティヌス帝である。
- イ ニケーア公会議において正統とされたのは、キリストを神と同質であるとするアタナシウス派である。
- ウ エフェソス公会議において正統とされたアリウス派は、北方のゲルマン人にも広まった。
- エ エフェソス公会議において異端とされたネストリウス派は、中国に伝わり景教と呼ばれた。

問7 アナトリアのトルコ化、イスラーム化を促進したルーム＝セルジューク朝の都があった都市を一つ選びなさい。

- ア イスファハーン
- イ コンヤ
- ウ タブリーズ
- エ ブルサ

問8 オスマン朝は14世紀にアナトリアの大半を支配下に置いたが、1402年、東方から侵入したティムール軍にアンカラの戦いで敗れ、一時、後退を余儀なくされた。ティムール朝に関する記述で正しいものを一つ選びなさい。

- ア ティムールは東チャガタイ＝ハン国出身である。
- イ トルコ系の遊牧ウイグルに滅ぼされた。
- ウ 首都サマルカンドは中央アジアの文化の中心となった。
- エ トゥグルル＝ベクは学問の中心ブハラに天文台を建設した。

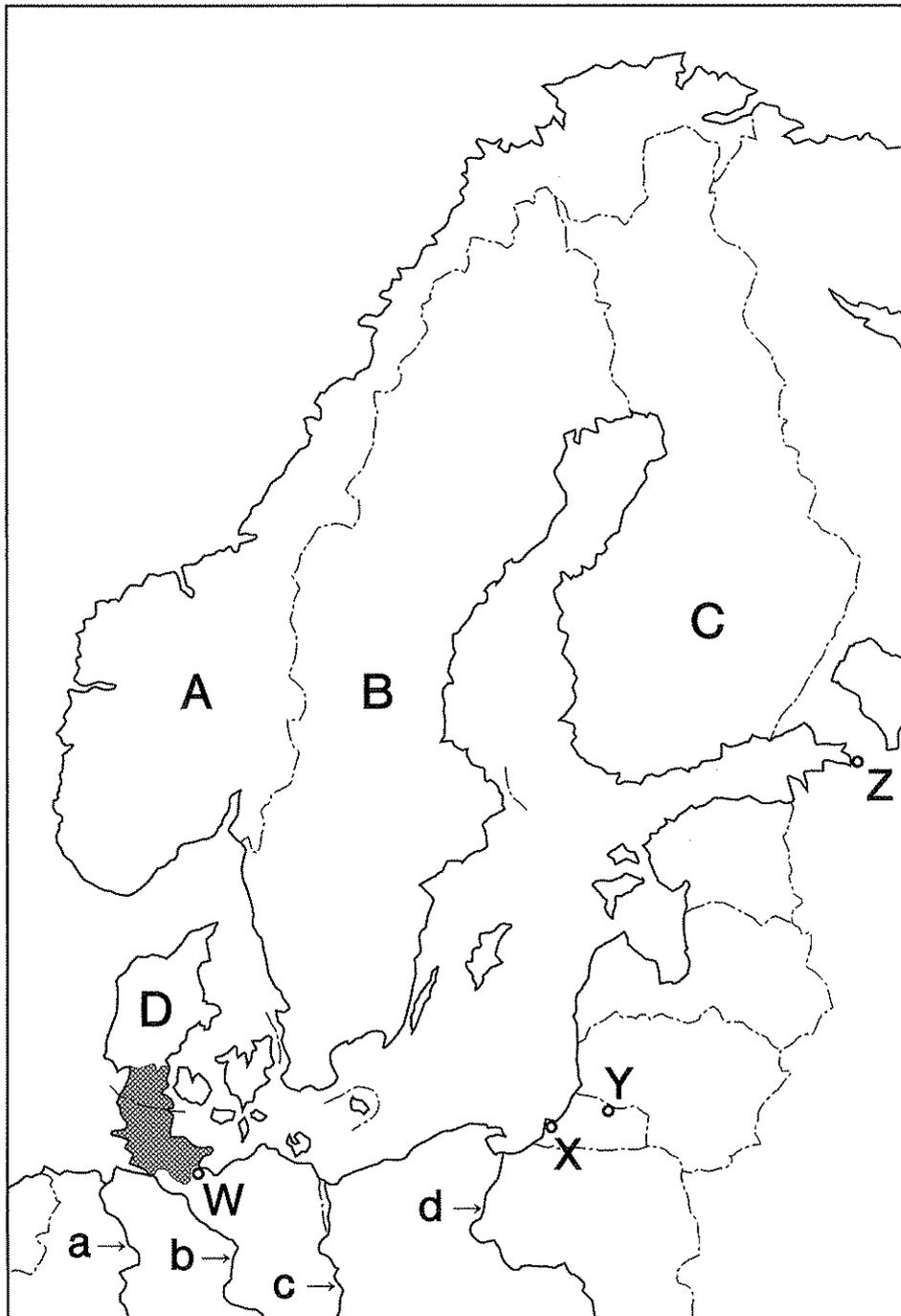
問9 オスマン帝国が第1次世界大戦に敗れると、アナトリアはセーヴル条約によって領土分割の危機に陥った。この条約でアナトリア東南部を勢力圏とし、シリアの委任統治権を得た国を一つ選びなさい。

- ア イギリス
- イ イタリア
- ウ フランス
- エ ロシア

問10 1923年、ローザンヌ条約によりアンカラを首都とするトルコ共和国が国際的に承認された。この国についての説明で誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 第1次中東戦争では旧宗主国としてアラブ連合と共にイスラエルと戦った。
- イ イラン、イラクと共にバグダード条約機構に参加した。
- ウ 中東における唯一の北大西洋条約機構加盟国である。
- エ 朝鮮戦争ではアメリカを中心とする「国連軍」に加わり朝鮮半島に派兵した。

II 以下の地図を見て各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄に記入しなさい。



- 1) 図中記号A～Dは現在のそれぞれの国土を表す記号である。
- 2) 図中記号a～dは川に付された記号である。
- 3) 図中記号W～Zは都市に付された記号である。

- 問1 北歐では、ヴァイキング時代（793年～11世紀半ば）と呼ばれる時代があり、それに関する以下の記述で正しいものを一つ選びなさい。
- ア Aの地の住民はデーン人と呼ばれ、大ブリテン島に侵入した。
 - イ Bの地出身の人物が、イングランドでノルマン朝を築いた。
 - ウ Cの地は、住民がスラヴ人で、ヴァイキング活動はしなかった。
 - エ Dの地出身の人物が、イングランドを支配し、その後「北海帝国」を築いた。
- 問2 12～14世紀におけるドイツ農民のエルベ川以東への大規模な植民ならびに開墾運動は、のちのドイツの集落などの景観に大きな影響を残した。エルベ川は以下のどの川か、地図の中から適切な記号を一つ選びなさい。
- ア a イ b ウ c エ d
- 問3 1397年にカルマル同盟がスウェーデンのカルマル城で結成された。それに関する以下の記述で正しいものを一つ選びなさい。
- ア スウェーデン王妃マルグレーテは、王の死後、カルマル城で女王に即位した。
 - イ マルグレーテは、この同盟によってスカンディナヴィア三国の女王になった。
 - ウ スウェーデンは、1523年カルマル同盟から離脱した。
 - エ この同盟によって、北歐ではデンマークの優位が揺らぐ結果となった。
- 問4 地図中のWの都市は、ハンザ同盟の盟主としてバルト海貿易で栄えた。その都市名を以下から一つ選びなさい。
- ア ハンブルク イ リューベック ウ ブレーメン エ ニュルンベルク
- 問5 三十年戦争（1618～48年）は、北歐ではスウェーデンがバルト海の制海権を獲得する結果をもたらした。それに関する以下の記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。
- ア スウェーデン王グスタフ＝アドルフが、勝者としてスウェーデン王国に凱旋した。
 - イ デンマークもスウェーデンも、新教徒側として戦った。
 - ウ フランスが新教徒側に与し、戦争はハプスブルク家との覇権争いに転化した。
 - エ スウェーデンは、バルト海の対岸、神聖ローマ帝国内の西ポンメルンを獲得した。
- 問6 北方戦争（1700～21年）に関する以下の記述のうち正しいものを一つ選びなさい。
- ア 1712年、ロシア皇帝は「西欧への窓」として、ロシアの西端のXの位置に遷都した。
 - イ バルト海の覇権は、北方戦争以降スウェーデンからロシアに移った。
 - ウ 1721年、ロシア皇帝はZの位置に遷都し、首都をモスクワから移した。
 - エ ロシアは北方戦争の勝利の勢いに乗って、フィンランドをスウェーデンから奪った。
- 問7 ナポレオンが1807年7月にYのティルジットで、ロシア・プロイセンと講和条約を結んだ。それに関する以下の記述のうち正しいものを一つ選びなさい。
- ア ナポレオンは、この条約とともに「大陸封鎖令」を発した。
 - イ ナポレオンは、この条約でロシアに「大陸封鎖令」への協力を求めた。
 - ウ ナポレオンは、プロイセンに既存の領土を保証し、「大陸封鎖令」への協力を求めた。
 - エ ナポレオンは、この条約に続いて、神聖ローマ帝国を消滅させた。
- 問8 地図中の網掛けの地域が、D国の敗戦によって、プロイセン・オーストリアに割譲された。その戦争より以前に起きたヨーロッパのできごとを以下の中から一つ選びなさい。
- ア 北ドイツ連邦の結成
 - イ ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世によるイタリア統一
 - ウ オーストリア＝ハンガリー帝国の成立
 - エ プロイセン＝フランス戦争

問9 「冬戦争」と呼ばれたソ連＝フィンランド戦争は、ソ連が仕掛けた戦争で、国際連盟はソ連を侵略国として除名した。その戦争勃発以前に起きたヨーロッパのできごとを以下の中から一つ選びなさい。

- ア ドイツ軍のポーランド侵攻
- イ ドイツ軍のオランダ・ベルギー侵攻
- ウ ドイツ軍のデンマーク・ノルウェー侵攻
- エ ソ連によるバルト3国併合

問10 バルト3国すべてが正式に独立した1991年以降に起きたヨーロッパのできごとを以下の中から一つ選びなさい。

- ア 東西ドイツ統一
- イ ゴルバチョフのソ連書記長就任
- ウ マーストリヒト条約締結
- エ ルーマニアのチャウシェスク大統領の処刑

Ⅲ 以下の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙及び記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

第二次世界大戦後、イギリスの支配下にあった地域が次々と独立し、新しい国々が誕生した。南アジアでは、インド独立法の制定を受けて、¹インド連邦と⁴パキスタンが独立したが、²両国の分離独立は、多くの問題を残した。独立時、ヒンドゥー教徒中心の国として独立したインドには、パキスタンの支配地域から逃れてきたヒンドゥー教徒や⁵シク教徒が流入した。一方、⁶イスラーム教徒中心の国として独立したパキスタンには、インドの支配地域から脱出したイスラーム教徒が流れ込んだことから、各地で衝突や暴動が発生し、大勢の人々が犠牲となった。

独立後、⁷両国は、地方の帰属をめぐる対立し、第一次、第二次インド＝パキスタン（印パ）戦争が勃発した。インドとパキスタンの分離独立がもたらしたもう一つの問題は、インドを挟んでパキスタンの国土が東西に分断されたことだった。独立後、東パキスタンでは西パキスタンに対する不満が広がり、自治を要求する動きが強まったが、これを鎮圧すべく西パキスタンが軍を投入したことから内戦に突入した。これに対してインドが東パキスタンを支援したために第三次印パ戦争が勃発したが、インドが勝利し、東パキスタンは⁸バングラデシュとして独立した。その後も印パ間の相互不信は続き、⁹インドが二回目の核実験を実施すると、これに対抗する形で、同年、パキスタンも核実験を実施した。印パの核実験は、¹⁰両国間の緊張を高めただけでなく、大国の核独占体制に波紋を投げかける深刻な出来事となった。

問1 下線部1に関連して、イギリスから独立した国を一つ選びなさい。

- ア スリランカ
- イ ベトナム
- ウ インドネシア
- エ ラオス

問2 下線部2に関連して、この法はどこで成立したか、一つ選びなさい。

- ア インド国民会議
- イ インド総督府
- ウ イギリス議会
- エ 全インド＝ムスリム連盟

問3 下線部3に関連する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア インド連邦成立の翌年、ガンディーは暗殺された。
- イ インド連邦の初代首相ネルーは、中国の周恩来との間で「平和五原則」を確認した。
- ウ インド連邦は、1950年、インド共和国憲法を發布し、インド共和国となった。
- エ インド連邦の誕生を機に、インドはイギリス連邦から脱退した。

問4 下線部4に関連する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ジンナーが、パキスタン初代総督に就任した。
- イ 1940年にラホールで開かれた全インド＝ムスリム連盟の大会で、イスラーム教徒による独立国家の樹立が目標として掲げられた。
- ウ 独立の際、パキスタンは、首都をカラチに定めた。
- エ パキスタンは、バグダード条約機構に加盟した。

問5 下線部5に関連する記述として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 16世紀、ナーナクは、ヒンドゥー教を改革し、シク教を創始した。
- イ シク教は、カースト制に反対した。
- ウ シク教徒は、インドのパンジャブ地方にシク王国を建てた。
- エ シク教徒は、19世紀中ごろ、二度にわたってインド軍と戦った。

問6 下線部6に関連する記述として、正しいものを一つ選びなさい。

- ア インド初のイスラーム王朝はムガル帝国である。
- イ ムガル帝国のアクバル帝は、ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の融合を図ろうとした。
- ウ アウラングゼーブは人頭税を廃止した。
- エ イギリス支配下のインド帝国では、イスラーム教徒が優遇されたために、ヒンドゥー教徒との間に軋轢が生じた。

問7 空欄 7 に当てはまる地名を、記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

問8 下線部8に関連して、バングラデシュ独立の背景には、パキスタン政府の言語政策への不満があったとされているが、西パキスタン（現在のパキスタン）の国語はどの言語か。正しいものを一つ選びなさい。

- ア ヒンディー語 イ ウルドゥー語 ウ パンジャブ語 エ ベンガル語

問9 下線部9に関連して、インドの二回目の核実験が実施された年を一つ選びなさい。

- ア 1978年 イ 1988年 ウ 1998年 エ 2000年

問10 下線部10に関連して、核兵器に関わる以下の4つの条約や協定のうち、締結年が最も古いものを一つ選びなさい。

- ア 核拡散防止条約 イ 核戦争防止協定 ウ 部分的核実験禁止条約 エ 包括的核実験禁止条約

IV 次の文章を読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定欄及び記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

スラヴ人は、1 山脈の北方に居住していたが、6～7世紀頃に広く現在の東欧一帯に拡散していった。その中で、現在のウクライナから²ロシアにかけての地域に進んだ東スラヴ人は、9世紀後半、首長リュウリクに率いられたノルマン人の一派ルス族が²ノヴゴロド国を建国したことによって、征服された。ルス族は更に南下し、882年キエフ公国を建国した。キエフは、モスクワやミンスクなどの諸都市とともに発展した。キエフ公国は、³ウラディミル1世の治世下で最盛期を迎えた。しかし、ヤロスラフ1世が1054年に没した後、公国は分裂し、西部はポーランドとリトアニア、東部は⁴キプチャク＝ハン国の支配下に置かれた。しかし、キプチャク＝ハン国が衰退し、15世紀に⁵モスクワ大公国が発展していくことになる。18世紀末の⁶ポーランド分割により、現在のバルト3国、ベラルーシ、ウクライナの領域の大半がロシア帝国の支配下となり、1783年、⁷エカチェリーナ2世の時代にクリミアがロシア領になった。⁸ロシア革命を契機としてウクライナは独立したものの、内戦を経てソ連邦結成に加わることとなった。その後、9 条約の秘密議定書により、それまでポーランド領であったガリツィア地方がソ連領となり、ウクライナ共和国に編入された。

問1 空欄 1 に当てはまる適切な語を記述式解答用紙に記入しなさい。

問2 下線2に関して、プーチン大統領が正式にロシアの大統領に就任した年を次から一つ選びなさい。

- ア 1996年 イ 1998年 ウ 2000年 エ 2002年

問3 下線3に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ギリシア正教を国教化した。
- イ ビザンツ皇帝の妹と結婚した。
- ウ 領土を拡大し、ビザンツ化を推進した。
- エ キエフに聖ソフィア大聖堂を建設した。

問4 下線4に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア チンギス＝ハンの長子のバトゥが、南ロシアのキプチャク草原に建てた国である。
- イ 首都はヴォルガ川下流のサライである。
- ウ キプチャクとは南ロシアの草原地帯で遊牧生活を送っていたトルコ系民族の呼称である。
- エ ロシア人は、モンゴル人による支配を「タートルのくびき」と呼んだ。

問5 下線5に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア イヴァン3世の治世下でモンゴル支配から独立した。
- イ 16世紀、イヴァン3世の孫のイヴァン4世は正式にツァーリとして戴冠した。
- ウ イヴァン4世は、1552年にカザン＝ハン国を征服した。
- エ イヴァン4世は、王権と農奴制の強化のために貴族を重用した。

問6 下線6に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア ポーランドではヤゲウォ朝が断絶した1572年から選挙王制が導入されていた。
- イ 1795年、ポーランド国家は消滅し、第一次世界大戦終結まで外国支配のもとにおかれた。
- ウ アメリカ独立戦争に参加したコシューシコは、民族蜂起軍を指導した。
- エ 1793年、フランス革命の最中にロシア、プロイセン、オーストリアによってポーランドの一部が分割された。

問7 下線7に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 啓蒙専制君主であったが、プガチョフの反乱以後は、農奴制を強化するなど反動化した。
- イ アメリカ独立戦争が起こると、イギリスを牽制するために1780年、武装中立同盟を提唱してアメリカを支援した。
- ウ 1792年、ペーリングをオホーツク海に派遣した。
- エ オスマン帝国との戦争やポーランド分割などを通じてロシア帝国の領土を拡大した。

問8 下線8に関する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 1905年1月、首都サンクト＝ペテルブルクでの労働者の平和の請願デモに対し、軍隊が発砲し多数の死傷者が出た。
- イ 1917年4月、レーニンが亡命先のフィンランドから帰国し、四月テーゼを提起した。
- ウ 1917年11月、レーニンが第2回全ロシア＝ソヴィエト会議で「平和に関する布告」を提案した。
- エ 1918年3月に成立したブレスト＝リトフスク条約は、ドイツ等との単独講和であったが、ドイツの敗戦後に破棄された。

問9 空欄

9

 に当てはまる適切な語句を記述式解答用紙に記入しなさい。

V 以下の文章AとBを読み、各設問に答えなさい。解答は、マーク解答用紙及び記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

[A] We ¹ the President of the United States, the President of the National Government of the Republic of China, and the Prime Minister of Great Britain, representing the hundreds of millions of our countrymen, have conferred and agree that Japan shall be given an opportunity to end this war.

.....

The terms of the Cairo Declaration shall be carried out and Japanese sovereignty shall be limited to the islands of Honshu, Hokkaido, Kyushu, Shikoku and such minor islands as we determine.

.....

We do not intend that the Japanese shall be enslaved as a race or destroyed as a nation, but stern justice shall be meted out to all war criminals, including those who have visited cruelties upon our prisoners. The Japanese Government shall remove all obstacles to the revival and strengthening of democratic tendencies among the Japanese people. Freedom of speech, of religion, and of thought, as well as respect for the fundamental human rights shall be established.

.....

We call upon the government of Japan to proclaim now the unconditional surrender of all Japanese armed forces, and to provide proper and adequate assurances of their good faith in such action. The alternative for Japan is prompt and utter destruction.

(外務省『日本外交年表資料ならびに収容文書』vol.2, 1966)

問1 下線1の各国の首脳に関する正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ア ローゼヴェルト・蒋介石・チャーチル
- イ ローゼヴェルト・毛沢東・アトリー
- ウ トルーマン・毛沢東・アトリー
- エ トルーマン・蒋介石・チャーチル

問2 下線2に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 米・英・ソ・中の4国首脳が対日処理方針を定めた。
- イ 第一次大戦後日本が獲得した太平洋諸島を没収する方針を定めた。
- ウ 日本に無条件降伏を求めることを定めた。
- エ 満州と台湾の中国への返還と朝鮮の独立の方針を定めた。

問3 下線3に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 戦後も存続した日本は、日華平和条約を締結した。
- イ 戦後も存続した日本は、日ソ平和条約を締結した。
- ウ 戦後も存続した日本は、日韓基本条約を締結した。
- エ 戦後も存続した日本は、日中平和友好条約を締結した。

問4 下線4に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 戦後の日本に思想の自由と基本的人権の尊重を求めた。
- イ 戦後の日本に明治憲法の理念を生かすことを求めた。
- ウ 戦後の日本に戦前の民主主義の風潮の復興と強化を求めた。
- エ 戦後の日本に信教の自由や表現の自由の保障を求めた。

問5 この声明は何と呼ばれるか。記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

[B] *The Security Council,*

Having determined that the armed attack upon the Republic of Korea by forces from North Korea constitutes a breach of the peace,

Having recommended that Members of the United Nations furnish such assistance to the Republic of Korea as may be necessary to repel the armed attack and to restore international peace and security⁶ in the area,

1. *Welcomes* the prompt and vigorous support which Governments and peoples of the United Nations have given to its resolutions 82 (1950) and 83 (1950) of 25 and 27 June 1950 to assist the Republic of Korea⁷ in defending itself against armed attack and thus to restore international peace and security in the area;
2. *Notes* that Members of the United Nations have transmitted to the United Nations offers of assistance for the Republic of Korea;
3. *Recommends* that all Members providing military forces and other assistance pursuant to the aforesaid Security Council resolutions make such forces and other assistance available to a unified command under the United States of America;⁸
4. *Requests* the United States to designate the commander of such forces;⁹
5. *Authorizes* the unified command at its discretion to use the United Nations flag in the course of operations against North Korean forces concurrently with the flags of the various nations participating;
6. *Requests* the United States to provide the Security Council with reports as appropriate on the course of action taken under the unified command.

(Adopted at the 476th meeting by 7 votes to none, with 3 Abstentions)

(安全保障理事会決議：[S/1588])

問6 下線6に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 国際連盟には侵略国家への制裁手段が十分備わっていなかった。
- イ 国際連合は集団的自衛権を否定している。
- ウ 国際連合には侵略国に対する経済的・軍事的制裁手段が備わっている。
- エ 国際連盟は戦後の賠償や軍縮問題を扱わなかった。

問7 下線7に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ア 日韓協約によって設立された統監府の初代統監は、伊藤博文であった。
- イ 大韓民国成立の年に、西ヨーロッパ連合条約が結ばれた。
- ウ 日韓基本条約締結を主導した李承晩は、韓国の経済成長を促した。
- エ 韓国の朴正熙大統領は、側近に暗殺された。

問8 下線8に関連して、なぜ安全保障理事会が軍事的制裁を決議できたのか、正しいものを一つ選びなさい。

- ア ソ連の国連代表が、侵略国が国際平和を脅かすものとして軍事的制裁に賛成した。
- イ ソ連の国連代表が、中華民国が中国を代表していることに抗議して欠席していた。
- ウ ソ連の国連代表が、スターリンの国葬に参列するために欠席していた。
- エ ソ連の国連代表が、東欧の社会主義国の常任理事国入りを求めて欠席していた。

問9 下線9に関連して、この役目に任命されたのは誰であったか。記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

[以下余白]

